

囲炉裏を囲んで座談会

2月22日、5回目の窯入れの休憩中に、里山ものづくり塾のメンバー4人（左から柴田博さん、水谷勉さん、西村文作さん、稲田茂さん）に「今の地域」についてお話を聞きました。



竹炭で火を起こし自分たちで作った囲炉裏で暖をとる里山ものづくり塾のメンバーたち

最近、コミュニケーションが少なくなってきたと言われますが

西村 昔は、どこの家でも囲炉裏を囲み、家族でいろいろな話をしていた。

稲田 そう。今はそれぞれの部屋に暖房器具があるから家族の集まる機会がないね。

水谷 便利になった分、家族や人と人のつながりも薄れてきたような気がする。

柴田 以前は、隣りの家に用事があったら「まあ上がってくれ」という感じだったが、今は、用事を済ませたらなぜかすぐに帰ってしまうね。

皆さんの子どもころと今を比べて変わったことはどんなことですか

西村 子どもたちも少なくなってきたね。地域に活気がなくなっている。子どもがいれば家が明るくなり、地域も明るくなると思う。

稲田 遊びも変ってしまい、家の中でゲームする子どもた

ちが増えてきている。

柴田 自分たちのころは、山や川でいつも遊んでいたよ。

稲田 上級生の「がき大将」にいろいろ教えてもらったね。水谷 学校では教えてもらえない大切なことを教えてもらった。

稲田 川に落とされて無理やり泳げるようになったよ。

西村 最近、がき大将がないね、大人の世界も。地域には、人を引きつける魅力を持つリーダーが必要だよ。

柴田 それと近所の人にもかなり怒られたな。

水谷 今では見て見ない振り、以前はすぐに怒られたものだ。稲田 子どもを怒ると親が出てくるような時代だよ。近所付き合いとか少なくなったからかな。

これからの地域と生きいきと暮らしていくには

西村 だれかが元気を出さないと地区は、どんどん寂しくなってしまうね。若者は地域から離れていってしまう。

柴田 しかし、菅福地区は元気を出しているよ、「元気屋」とかよくやっていると思う。



「窯開けが一番楽しい」と声も弾む

今日も味噌づくりをしている。水谷 何かすることがあれば、毎日がとても楽しいね。

稲田 あれもしたいこれほしいで、毎日が忙しい。病気がして寝込んでいる場合ではないよ。忙しい方が元気になる。西村 一人ひとりが趣味や生きがいを持って活動することが一番だね。

柴田 みんなが集まれる場所があるのも大切。ここはいいね。囲炉裏を囲むと話はずむ。1日がとても楽しい。

稲田 楽しいからがんばれる。地域の中の役割を考えて盛り上げていこう。

西村 私たちは、地域の良き伝統を若者に伝えていく重要な役割だと思うね。そのためにも元気を出して地域から情報発信をしていこう。